

## 本事例の基礎データ

カテゴリ	情報モラルを育成する指導方法		
学校種	中学校	事例提供者	墨田区立錦糸中学校
学年	1年生	教科等	特別の教科 道徳
単元名	グループトークでいじめ「そんなつもりじゃなかったのに・・・」 【C(10) 遵法精神、公德心】		
主な ICT 機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・iPad (キーボード付き iOS 機/一人1台)</li> <li>・ノートパソコン</li> <li>・プロジェクター</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例で学ぶ Net モラル (広教) の事例アニメの視聴を通して、適切なコミュニケーションの取り方を理解し、情報モラルについての理解を深める。</li> </ul>		
「情報活用能力 #東京モデル」の位置付け	情報モラル・情報セキュリティ	STEP 4	情報に関する個人の権利と重要性について理解できる

## 本事例における教育の情報化について

【ポイント1】	<b>アニメーション動画の視聴</b> 生徒にとって身近な事例アニメーション動画は自分自身に置き換えて考えやすい。
【ポイント2】	<b>ロイロノートによる情報共有</b> ロイロノートを活用し、生徒は、クラス全員の意見を手元で確認することができる。
【ポイント3】	<b>Net モラル CBT の受験による、生徒の理解状況の可視化</b> 情報モラルの問題を受けることで、自分自身の理解状況を可視化し、今後の学びにつなげることができる。

## 本時の流れ

段階	● 主な学習活動・生徒の活動	○ 支援・留意点 ☆ 評価
導 入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>アニメーション動画を視聴する。</b> ……………【ポイント1】</li> <li>・ 内容を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分に置き換えて考えさせる。</li> </ul>
展 開	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">                     ネットでのいじめを起こさないために、どうすればいいか考えよう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>悪口がたくさん書き込まれて、いじめになってしまった理由を考える。</b> ・ ロイロノートの「テキスト」に自分の意見を書き、「提出箱」に提出する。 ・ 提出された意見を共有し、いじめにつながっていった理由を考える。 ……………【ポイント2】</li> <li>● <b>いじめが起こった理由を考え、どうしていればよかったかを考える。</b> ・ ロイロノートの「テキスト」に自分の意見を書き提出箱」に提出する。 ・ 提出された意見を共有し、いじめを未然に防ぐために、どうしていればよかったかを考える。……【ポイント2】</li> <li>● <b>まとめのアニメーション動画を視聴する……………【ポイント1】</b> ・ いじめを起こさないために、どうすればよいかを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の意見と他者の意見を比較することで、さらに学びを深める。</li> <li>○ 平成28年に墨田区立中学校10校による生徒会サミットで採択された「墨田区立中学校インターネット・SNS 利用ルール宣言」の、「個人情報」と「コミュニケーション」に関するルールを踏まえて考えさせる。</li> <li>○ 書き込みはどんどんエスカレートしてしまうことがあり、なかなか止められないことも多いので、もし起こってしまったら、勇気をもって相談するように伝える。</li> </ul>
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>Net モラル CBT を受験する。</b> ……………【ポイント3】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ レベル1の受験を通して、ネットモラルに対する自分の意識を確認させる。</li> <li>☆ Net モラル CBT の受験結果</li> </ul>

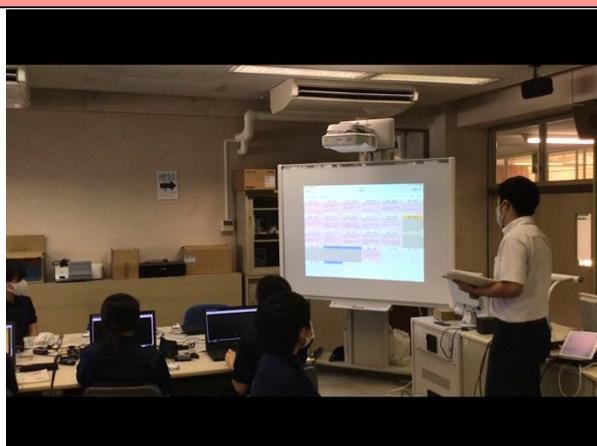
## 授業の実際

### 【ポイント1】 ●アニメーション動画の視聴



事例が具体的であるため、現実的な対処法を学ぶことができ、正しい知識を身に付けることができる。さらに、生徒にとって身近な事例アニメは自分自身に置き換えて考えやすく、学びを深めることにつながる。

### 【ポイント2】 ●ロイロノートによる情報共有



生徒は、「ロイロノート」で、自分の考えを「テキスト」に入力し、「提出箱」に提出する。授業者が「提出箱」を共有することで、他者との意見を共有することができる。授業以外でも、委員会活動、生徒総会などでも、ロイロノートを活用している。

### 【ポイント3】 ●Net モラル CBT の受験による、生徒の理解状況の可視化

30				
31	100点	2回	最新の記事数を見る	掲載を見る
32	80点	1回	最新の記事数を見る	掲載を見る
33	90点	2回	最新の記事数を見る	掲載を見る
34	100点	2回	最新の記事数を見る	掲載を見る
35				
36	100点	2回	最新の記事数を見る	掲載を見る
37				
38				
39	100点	2回	最新の記事数を見る	掲載を見る
40	100点	2回	最新の記事数を見る	掲載を見る
41	100点	4回	最新の記事数を見る	掲載を見る
42	100点	4回	最新の記事数を見る	掲載を見る
43	100点	2回	最新の記事数を見る	掲載を見る

生徒が受験した「Net モラル CBT」では生徒の学習履歴・理解度を一目で確認することができる。誤答率が高い問題に対応する事例や指導に必要な事例を容易に見付けることができる。

## 今後に向けて

- Net モラル CBT 受験の結果から弱点を抽出し、家庭で個別に学習できるように指導していく。また、Net モラル CBT の分析結果から長期休業中の宿題として、アニメーションの視聴を促し、情報モラルを継続して学んでいく。
- 今回の授業では Net モラル CBT のレベル1の受験をしたが、レベル2、レベル3とより高いレベルの級の受験を目標とさせることで、生徒の達成感を味わわせながら、情報モラルの理解を深めていく。